

第50号 (2021-11/12月発行)

# 根郷 寿だより



発行 佐倉市立根郷公民館  
〒285-0815 佐倉市城 343-5  
☎ 043-486-3147 FAX 043-486-3686  
E-mail [negou-public@city.sakura.lg.jp](mailto:negou-public@city.sakura.lg.jp)  
編集 根郷寿大学・根郷寿だより編集委員会

## コロナ禍に於ける「雑考」

根郷寿大学運営委員会会長 樹村 光雄

コロナ禍になって2年以上経過し、変異株によって全世界でその勢いは一部の国に留まるどころか、拡大の一途を辿っております。何時、終息するのか・・・全く見当が付きません。さて、東京2020 Olympicもコロナ禍で開かれ、開催すべきか否か、賛否両論でしたが、アスリート達の姿に希望と勇気、未来に灯を照らした姿に内外から概ね好評であったことは、日本のレジリエンスの賜物と言えましょう。

さて、私達はPandemic収束後に元に戻る事はなく、元よりも良い未来を築く為にどうすればいいのでしょうか？

Change (コロナによって世の中が変わる)

Chance (コロナによって世の中を変えるチャンス)

「挑戦と進化」を旨として我々一人一人が心してやって行くという意味と覚悟が大事なのではないのでしょうか？

私はコロナ禍の中で生活リズムを崩さず、健康そのものですが、只一つ他人との会話が出来ない事が慙愧(ざんき)に堪えません。日常の些細な事、「根郷寿大学」で皆さんと会える幸せが筆舌につくしがたいと痛感しております。

コロナ禍で「認知症」の進行が85%見られるという介護者の回答を見ると、筋肉のフレイルを生じないように心してやっていかねばと痛感します。

最後に「健康こそが人生の喜び」であり、前述の如く「挑戦と進化」こそ気持を維持、発展させようではありませんか？

## 佐倉の街を歩いて気になる事・気付いた事

五班 斎藤 たかし

\*佐倉市内、特に城址公園周辺は坂道が多い。いわば馬の背のように高台になっている事が起因している。歩いて気が付くのは、狭い道にガードレールや手すりの無い場所が

ある。歩く人の安全を考えてほしい。特に高齢者は杖を頼りに歩いている人も多い。又、自転車で県道等、主要道路を堂々と往来する。「チャリ」と呼ぶが、それも鳴らさず後ろから人を追い越す等、様々である。

\*最近、路線バスに乗ることが多いが、運転手が声を出して「横断歩道です」等々言うようになった。良い事です。「左良し、発車」。そのひと言で安全・安心を心がけている。何も昔に戻れというのではない。街を歩いている気持ちになって物事を進めよう。歩く事で様々な事が発見できる。

\*締め言葉「狭い日本、そんなに急いでどこへ行く」 歩くことにより、足腰がきたえられ体力がつく。

## 50年前のニューヨーク

六班 平田 恭一郎

50年前の1971年秋、仕事の関係でアメリカへ旅立つことになった。出張の合間にニューヨークの街をぶらぶらと歩いたが、その時の様子を思い出しながら書いてみた。

当時、外国為替制度の過渡期で、1971年8月まで長く続いた固定相場(1ドル=360円)の時代から、スミソニアンレート(1ドル=308円)という時代になった。出納で出張旅費をドル札と旅行小切手で受けとり、サムソナイトの旅行鞆を新調して、初めての海外旅行に臨む。

羽田空港から飛行機に乗り込む。ニューヨーク便は日本航空が導入した最新鋭大型機ボーイング747である。機長のアナウンスがあり日付変更線を通ると、客室乗務員から日本航空朝田社長直筆による通過証明の色紙が配られた。

広いアメリカ大陸の上空を横断し、夕刻、ニューヨークのラガーディア空港に到着した。現地駐在員の出迎えで市内中心部にあるホテルに入る。

翌朝、ホテルを出て町を散策する。地下鉄の出口から吐き出された人たちが急ぎ足でオフィスに向かう。スタンドの分厚い新聞が飛ぶように売れ、屋台にボリュームたっぷりのホットドックが並び街角にコーヒーの香りが漂う。近くにエンパイアステートビルディングが建ち、下から見上げる。このビルは1972年にワールドトレードセンターのノースタワーが竣工するまでの42年間、世界一の高さを誇るビルとなっていた。

現地駐在事務所からホテルに戻る途中、グランド・セントラル駅に立ち寄る。この駅は1871年の開業で駅舎は重厚感に溢れていた。鉄道ファンの私として、大陸横断鉄道に乗りたかったが時間にゆとりがない。

休日、メトロポリタン美術館を訪れる。マンハッタンにある世界最大級の美術館で、コレクションの幅が極めて広く、古今東西問わずあらゆる時代、地域、文明、技法による作品を収集されていた。セントラル・パークにも足を延ばす。朝のテレビが昨夜公園内で殺人事件があったと報道していた。恐る恐る公園内を散歩したが、殺人事件が起こりそうな気配はなかった。

夜、マンハッタンを南北に貫く繁華街ブロードウェイをぶらぶらする。煌びやかなネオンサインの下に多くの人が行きかい、喧騒ぶりは東京の銀座を凌ぐ。帰路の夜道で、挙動不審な男と遭遇、速足でホテルに戻った。

ある日、地下鉄の乗車体験を試みる。ニューヨーク市の地下鉄は1904年最初が開業、アメリカでは珍しい充実した公共交通ネットワークを構築し、ニューヨーク都市圏の重要な交通体系を担うようになった。しかし、1970年代に入ると、設備の老朽化に加え、車内や駅構内での犯罪が多発するようになる。トークンと呼ばれる代用貨幣を投入し、薄暗いホームに降りる。滑り込んできた列車の外側は落書きで覆いつくされ、車内の照明も暗い。うす汚れた座席には黒人ばかり、中には麻薬中毒のような男も座っていて、恐ろしくなり3駅ほど乗っただけで下車した。

別の日、自由の女神像を見物するためフェリーでリバティ島に。船上から、完成寸前のワールドトレードセンタービルを眺める。あのツインの超高層ビルは、2001年9月、

世界同時多発テロで崩壊してしまった。島に上陸し女神像を見上げる。この像はアメリカ独立 100 周年を記念して建設され完成が 1886 年、高さ 9.3 m もある。9・11 のテロで白亜のビルが相次いで崩壊したとき、女神の目から大粒の涙がこぼれたことであろう。土産で買ったナポレオンのコニャックは日本円換算で 1 本 5 万円もしたが、今では日本のリカーショップで 1 万円も出せば買えるようだ。

## お地蔵さんの話

十班 吉野強三郎

皆様は散歩の途中、お墓参りに行った時、赤い涎掛けを掛けたお地蔵さんを見掛ける事はありませんか？六体並んだお地蔵さん、道端にぽつんと一体のお地蔵さん、そのお地蔵さんとはどの様な仏か考えた事がありますか？

詳しい方はご存知だと思いますが、仏教の教えではお釈迦さまが亡くなった後、56 億 7000 万年後に弥勒菩薩という次のお釈迦さまがこの世に現れて我々を救って下さると言われております。そのお釈迦さまのいない間、この世で苦しみ迷える私達を助けて下さるのが地蔵菩薩です。地蔵菩薩の多くが、出家僧のお姿で右手に杖（錫杖）左手に宝珠を持っています。常に私達の身近にあって、救いの手を差しのべるそのお姿は、お寺は勿論の事、街の中にも、田舎の片隅や山中など様々な場所に祀られております。

何故お寺の入り口にお地蔵さんは六体も並んで立っているのでしょうか？ご存じの方が多いと思いますが仏教には「輪廻」と言う思想があり「六道」と呼ばれる 6 つの世界を、私達は生まれ変わりながら何度も行き来するものと考えられています。

六地蔵は地獄道の檀陀(だんだ)、餓鬼道の宝珠、畜生道の宝印、修羅道の持地(じじ)、人間道の除蓋障(じょがいしょう)、天道の日光の各地蔵菩薩とされています(諸説あります)。

六体の地蔵は、地蔵菩薩が六つの世界へ赴くために姿を変えたもので、故人が良い世界に生まれ変わる事を願って建てられているそうです。

※ 浄土真宗では、全ての死者は阿弥陀如来によって極楽浄土に招かれると考えられているので、六道に生まれ変わる事はありません。

※ 善光寺の六地蔵は、地獄道へ向かうお地蔵さんだけが片足を崩しています。これは、最も過酷な地獄道へ一刻も早く救済に向かおうとする姿と言われています。

※ 赤い涎掛けをかけているのは加護を受ける際に、涎掛けやお供え物を奉納する習わしがあるからで何故赤い布なのかははっきりしません、子供を守ってくれる仏さまとして、昔から人々に信仰され、涎掛けを掛けるのも、毛糸の帽子や頭巾をかぶせるのも、赤ちゃんが丈夫に育つようにというお母さん達の願いと祈りが込められているからです。



写真：新照寺（太田）の六地蔵

### <おまけの話>

道端で見かけるお地蔵さんは、道祖神信仰とつながって地域を守る存在として建てられている事が多いです。道祖神は、旅の安全や道の安全を守る神様、またはそれらを祈願して建てられた石碑や石塔、祠を指します。また、集落や村の入り口にある場合には、外からの災いを避けたいという願いが込められています。道祖神は「神」です。仏教とは異なる考え方ですが、日本の神は仏が姿を変えたものとする「本地垂迹説」や民間信仰と相まってお地蔵さんの形をしている場合があります。「おさげと花と

地蔵さんと」と言う歌があります。人生の晩節、過ぎた日々を思い懐かしい故郷、幼馴染の顔を臉に、暫しの時間、お地蔵さんに手を合わせるのも良いかと思ひます。

### 【作詩】 人生行路

元寿大学生 内野 牧夫

1. 険しい道はどこまでも続く  
下り坂登り坂足元みつめて  
躓いて転んでもまた起き上がり  
私を支えるこの足を  
信じて信じてわが道を行く
2. 知らない道よいつまでも続く  
誰も皆どんな道か教えてくれない  
風の日も雪の日もデコボコ道を  
今日も明日も回り道  
踏みしめ踏みしめまた一歩歩く
3. 苦しい時も嬉しい時も  
この道かあの道かどこへ行くのか  
悲しみと喜びもあなたと歩く  
夢を追いかけて行く道に  
まだ見ぬ幸せさがす旅よ
4. あなたと私も 君と僕も  
左足右足で歩いてきた道よ  
たまたまお会いしたこのひと時は  
このあと再び会えるかも  
わからぬ旅路よあすのいのち

### ミニ立ち寄りスポット

元寿大学生 菊池美千枝

コロナワクチン2回接種完了していても現状は残念ながら自由に友達と女子会が出来ずこの上なく不自由な生活を送っています。

多分、沢山の方が体を動かして気分転換していると思いますので散歩やウォーキングでいつもと違うスポットを加え、少し足を伸ばしてリフレッシュしましょう。

その一つが六崎の水と豊穰の神様・女性の神様弁天神社です。秋の紅葉写真はよく見ますが、半夏生の咲いている時期もお勧めです。紫陽花が周りを囲み後ろ側に半夏生が群をなして咲いています。一本だけを見ると清楚で華やかさが感じないけれども沢山集まると葉っぱ半分の白さが際立っていて、素晴らしいと声が出てしまうほどです。別名はカタシロクサ（片白草）オシロイカケ（白粉掛）とか！でも、周りの水がもう少し綺麗な水だともっといいのに。近くには菅原神社もありますから、神社巡りも可能です。



写真：殉難の碑

あと一つは、歴史の好きな方はとっくの昔にご存知かもしれませんが、それなりの驚きが有りました。JR線を跨ぐ佐倉印西線（県道65号線）陸橋の真下に殉難の碑が有りました。国鉄が爆撃を受けて何人も人が亡くなった話は聞いてはいたのですが碑が生活圏の中に有ることは知らなかったのです。人目の少ない所だし、そのうえ線路脇なので余計にひっそりと悲しげに感じてしまいました。根郷寿だよりが発行される頃はどのような状態になっているのでしょうか？きっと少しでも気楽な生活が出来る様になっていると思います。期待を込めて！！

### 私の“いい塩梅”

三班 菊地 洋子

初めまして、根郷寿大学2回目受講の新参加者です。受講に当たり関係者の方々のご尽力に感謝します。隔月ではありますが、受講者の皆さんに元気をもらっています。

そんな私は“いい塩梅”に大事にしている3つの事があります。まず1番目にいい塩

梅の友人、一緒にランチに行く、旅に行く（今はこれもままなりません（笑））だけでなく、大変な時、楽しい時、気持ちを共感共有してくれる沢山じゃなくていい何人かの友人、大事です。2番目にいい塩梅のお金、筆筒にいっぱいなくていいんです。普通に心配なく生活出来る程度のお金、大事です。いっぱいあると揉める素かもですから。3番目にいい塩梅の健康、血液検査で多少High & Low あってもいいんです。私も今の流行語ではないですが基礎疾患をかかえています。それも多重債務です。息切れはするし、膝もいう事きかないし、薬もいっぱい飲んでいきます。何十年も頑張ってくれている身体、故障もするしメンテナンスも必要かもしれません。でも気分は良いです。これ大事です。

Doctorに「どうですか？」と問われたら、「気分は良いです！」と答えています。寿世代の皆さん、御身大切に日々気分よく過ごして参りましょう。

### 「東京2020」ボランティアに参加して

八班 犬丸 俊博

9月7日夜、成田空港第2ターミナルでエミレーツ航空カタール便に搭乗するパラリンピック選手団の見送り。これで、私の「東京2020」五輪・パラリンピックのボランティア活動が終了。7月3日第1ターミナルでアフリカの五輪選手団を迎えてから、通算22日の活動でした。

東京大会の開催には世界的な新型コロナ感染拡大から、国内外から否定的な意見もあり、また多くの競技が無観客開催になったことは周知の通りです。よってボランティア活動も大幅な変更と一部は中止となってしまいました。特に「バブル方式」と称された各国選手との接触を避ける方法は、開催直前に決定されたことで、事前研修も充分ではなく現場では走りながら改善を重ねていくこととなりました。さらに各国選手や関係者の方々に取っては日本への長時間のフライトに加え、空港でのPCR検査結果を待つこととなり、疲労感に満ちた来日となったようです。一般公共交通の利用禁止、空港から事前合宿地や選手村へは直行、競技が終われば、数日以内に選手村を退村するという厳しい条件。コロナ禍での開催で「日本」はどう映り、どう心に残って帰国されたのかと思うと言葉にも出せません。

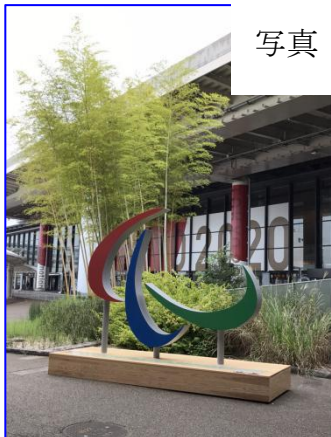
我々のボランティア活動も一年延期の影響、無観客競技、選手及び関係者との接触禁止など数々の制限も加わり、ボランティア応募の際に描いていたイメージとはほど遠いものとなってしまいました。また、更衣室が十分に確保出来ないこともあって、自宅と活動場所間の移動はユニフォーム着用との指示。開催への反対も少なくない中、電車内の目が大変気になっての活動スタート。また、2回のワクチン接種が終わった高齢者ボランティアに対し、学生や主婦など多くのボランティア仲間は未接種や1回目接種の段階でのボランティア開始でした。開催するならば国民の大半のワクチン接種が終了してからとの意見もある中、「このような形での開催に意義があるのか」と自問したものです。

ボランティア仲間では、選手団への「おもてなし」とは何か、来日への感謝の気持ちを伝える良い方法はないかと、手作りのおもてなしグッズや、メッセージボードを作りました。選手団の移動状況、例えば検査結果を得てカスタムへの移動開始や帰国時の選手村出発の人数・時間の情報など・・・携帯の”LINE”のオープンチャットを利用して情報を共有。携帯はボランティア活動を通じて、それぞれの役割を果たすための重要なツールとなりました。

そして見送りの際には、出発ロビーでゲートインする選手団や関係者の方々から感謝の言葉を多く聞かれました。特に「こんな厳しい環境の中、大会を開催してくれた日本に感謝」と言ってくれた、ある東欧の選手の笑顔が今でも心に残っています。

活動を終えた今、新型コロナが終息しボランティア仲間からの「打ち上げ会」の連絡

が、前述の” LINE”から配信されるのを楽しみにしています。



写真：パラリンピックのモニュメント（成田空港：第1ターミナル）

パラリンピックシンボル：「スリーアギトス」と呼ばれ、赤、青、緑の3色の曲線で描かれています。「アギト」はラテン語で「私は動く」を意味し、困難なことも諦めずに、限界に挑戦し続けるパラリンピアンを表現しています。赤、青、緑は、世界の国旗で最も多く使用されている色を採用。中心をとりまく3つのアギトは動きを象徴し、競技のために世界中から選手を呼び集めるというパラリンピック・ムーブメントの役割を象徴。現在のデザインは3代目で、アテネ2004大会の閉会式から使われている。

（「フィールドキャスト用ハンドブック」より）

### 編集後記（敬称略）

5月及び6月に令和3年度根郷寿大学の開講式が行われました。式中での校歌もコーラスグループによるテープを聞きながら心の中で斉唱しなければならないというコロナ禍での式でしたが、無事開講式を終えられたことは、公民館始め関係者の方々のご苦勞、ご努力のお陰と感謝申し上げます。今年度は奇数月、偶数月に分かれての講義という異例の状況ですが、何とか無事に来年3月の閉講式を迎えられることを願っております。なお、前号49号でお知らせしました「根郷寿だより編集委員」に新たに下記2名の方にご協力を頂けることになりましたので、本紙にて紹介させていただきます。お二人とも今年度の奇数月での受講生ですが、編集委員としてのご活躍を期待するとともに、皆様の方々からのお二人への暖かいご協力・ご支援を併せてお願い致します。

菊地 洋子（三班）、 平林 健造（五班）



左写真：開講式  
右写真：受講中



定例の次号51号は令和3年度閉講式（予定）を開催する来年3月に発行を予定しており、同号への投稿期限は来年1月末とさせていただきます。原稿は未発表の原稿に限り、投稿期限内に編集委員若しくは根郷公民館に持参して頂くか、電子メールでの投稿にてお願いします。  
以上 犬丸 俊博（記）

◆「根郷寿だより」（印刷版）は受講生以外に根郷公民館他、下記の場所に配置し市民の皆様にお読み頂いております。

根郷寿だより配置所（順不同）

- ・中央公民館 ・志津公民館 ・臼井公民館 ・和田公民館 ・弥富公民館
- ・佐倉図書館 ・志津図書館 ・佐倉南図書館 ・JR佐倉駅（2Fコンコース）
- ・ミレニアムセンター佐倉（佐倉コミュニティーセンター内）